

科目名	デザイン実習 1 A							年度	2024		
英語科目名	Design Practice 1A							学期	後期		
学科・学年	デザイン科	プロダクトデザイン専攻	1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	加賀武見			教員の実務経験		有		実務経験の職種		プロダクトデザイナー	
<b>【科目の目的】</b> デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させ、商品提案ができるようになることを目標とする。アイデアスケッチ・製図・提案スケールモデルの制作・モデルの撮影・プレゼンボード制作・プレゼンテーション等、一連のデザインプロセスを学ぶ。検証を重ねながら試作し、デザインの実作を行うことで、プロダクトデザイナーの仕事を理解する。											
<b>【科目の概要】</b> プロダクトデザインの商品企画を行い、生産の知識と技術の理解し、材料素材、加工、仕上げまで行う。これから経験していく仕事の現場で、役に立つものづくりを実践的な実習から学び、素材、道具の正しい選び方、使い方を理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「商品企画提案」に関連するプロセスを理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、商品デザインを実践できるようになるのがねらいである。											
<b>【到達目標】</b> 目標A 道具の使い方から素材の特性や適正を理解する 目標B 一連のプロセスを理解し、デザインの実作ができる 目標C デザインの総合的能力を高め、自分自身で活用できる											
<b>【授業の注意点】</b> 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう				レベル1 要努力			
到達目標 A	道具の使い方から素材の特性や適正を深く理解してる			道具の使い方から素材の特性や適正を理解してる				道具の使い方から素材の特性や適正を理解できていない			
到達目標 B	一連のプロセスを理解し、デザインの実作が優れている			一連のプロセスを理解し、デザインの実作ができている				一連のプロセスを理解し、デザインの実作できていない			
到達目標 C	デザインの総合的能力を高め、自分自身で優れてた活用できている			デザインの総合的能力を高め、自分自身で活用できる				デザインの総合的能力を高め、自分自身で活用できていない			
<b>【教科書】</b> 特定の教科書はない。適時、授業に必要な資料配布を行う。											
<b>【参考資料】</b> 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> プレゼン 20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度 40% 提出課題完成度を総合的に評価する リサーチ 20% 制作準備と過程を評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		デザイン実習 1A			年度	2024	
英語表記		Design Practice 1A			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	付箋のデザイン	課題の理解	1	課題説明	課題内容を理解している		
			2	市場調査	提案商品デザインの調査されている		
			3	コンセプト立案	提案商品デザインのコンセプト立案がされている		
2	付箋のデザイン	実習指導	1	デザインチェック	適正なユーザービリティのデザインができています		
			2	検証ラフ製作	素材、加工を理解し、ラフ製作ができています		
3	付箋のデザイン	デザイン検証	1	デザインチェック	適正なユーザービリティのデザインができています		
			2	検証修正デザイン	検証修正されたデザインができています		
4	付箋のデザイン	デザインのデータ化	1	データ製作	デザインのデータ化ができています		
5	付箋のデザイン	デザインのデータ化	1	データ提出	デザインの提出ができています		
			2	データ出力	デザインの出力ができています		
6	付箋のデザイン	編集作業	1	作品撮影	作品撮影ができています		
			2	プレゼンボード製作	プレゼンボード製作ができています		
7	カトラリーのデザイン	課題の理解	1	課題説明	課題内容を理解している		
			2	市場調査	提案商品デザインの調査されている		
			3	コンセプト立案	提案商品デザインのコンセプト立案がされている		
8	カトラリーのデザイン	実習指導	1	デザインチェック	適正なユーザービリティのデザインができています		
			2	検証ラフ製作	素材、加工を理解し、ラフ製作ができています		
9	カトラリーのデザイン	実習指導	1	デザインチェック	適正なユーザービリティのデザインができています		
			2	検証ラフ製作	検証修正されたデザインができています		
10	カトラリーのデザイン	実習指導	1	デザインチェック	適正なユーザービリティのデザインができています		
			2	検証修正デザイン	検証修正されたデザインができています		
11	カトラリーのデザイン	デザインのデータ化	1	データ製作	デザインのデータ化ができています		
12	カトラリーのデザイン	デザインのデータ化	1	データ提出	デザインの提出ができています		
			2	データ出力	デザインの出力ができています		
13	カトラリーのデザイン	編集作業	1	作品撮影	作品撮影ができています		
			2	プレゼンボード製作	プレゼンボード製作ができています		
14	付箋のデザイン カトラリーのデザイン	講評・採点	1	プレゼンテーション	プレゼンテーションができています		
				評価、講評	講評から修正改善点を理解している		
15	付箋のデザイン カトラリーのデザイン	再評価	1	ボードデータの再提	修正改善して、データを提出できています		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等